

様式1

令和5年度 学校評価表

学校教育目標		この島に生まれ育った誇りと自信を持って、学び続ける生徒の育成 ～さまざまな体験活動をとおして～																			
ミッション		地域の強みを生かした小中高連携による瀬戸田教育の発展		ビジョン		コミュニティ・スクールの強みを生かし、地域連携と小中(高)連携をさらに充実させながら、個別最適な学びと協働的な学びの実現を図ることで、教育の質を高め、すべての子供たちの可能性を引き出す。															
評価計画														自己評価				学校関係者評価			改善計画
a	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案						
						g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ								
特色ある学校づくり	スクールプライド（学校への愛着や誇り）の育成	1 総合的な学習の時間の充実（ユネスコスクール加盟の取組） 2 コミュニティ・スクールの機能化（地域連携）	1 SDGs を取組の柱とした成果物の完成 ・ 1年生：食育（「弁当の日」実施） ・ 2年生：国際交流（「アートマイル」） ・ 3年生：問題解決学習（「KWN日本コンテスト」） 2 学校運営協議会の定期的な開催と学校行事等への積極的な参加	1-① 成果物の完成と2回／年の報告会及び生徒・保護者アンケート Q「自分の住んでいる地域が好き」の評価80%以上 1-② ユネスコスクール加盟 2-① 学校運営協議会委員の学校行事への参加延べ人数100人以上 2-② 学校運営協議会委員アンケート実施 Q「学校は定期的・計画的に評価・改善をし教育の質を上げている」の評価80%以上	80%																
小中（高）連携の推進	9(12)年間でめざす資質・能力の育成	1 連携の充実	1 授業連携 ・ 小学校へは芸術教科（美術・音楽・保健体育）の出前授業を高等学校からは（国・社・数・理・英）の出前授業を実施 2 瀬戸田地区小中高連携教育推進協議会の開催 3 校区スタンダードの定着（小中学校合同取組事項） ・ あいさつ・早寝・早起き・朝ご飯・家庭学習の習慣化	1-① 各教科年1回以上 1-② 瀬戸田高等学校には3年生全生徒と希望保護者対象に学校説明会を複数回実施 2-① 校長会は毎月、事務局会は隔月、全体会は毎学期実施 2-② 11月10日小中高合同研究会開催 3-① 生徒・保護者アンケート項目で習慣化できている生徒の割合80%以上 3-② 生徒会の委員会活動とリンクさせ達成状況を可視化する	100%																
教育研究の充実	学校風土としての教育研究の定着	1 校内研修会（授業）の充実 2 校内研修会（理論）の充実 3 先進校視察と本校教育実践への還元	1 令和の日本型学校教育（個別最適な学びと協働的な学び）の実現に向けた授業改善 2 福山大学小原友行教授を講師に招聘 3 県内（敏智学園）と県外（教育先進校）視察	1-① 次の3点を踏まえて全教員が授業提案実施 ・ ICT機器の活用 ・ 3つの問い（本質・単元・本時）の設定 ・ 毎時間のまとめと振り返り実施 2-① 毎学期招聘し評価・改善を実施 2-② 原則、毎回本校担当指導主事を招聘 3-① 県内・県外ともに1回以上実施 3-② 視察後は、研修成果をワンペーパーにまとめ研修会を実施し教育の質の向上を図る	100%																
教職員の働き方改革	働きがいがある職場づくり	1 職場の労働環境の改善	1 ハード面（環境整備、時間外労働の縮減）とソフト面（行事等の精選等）の改善 1-② 不祥事〇、病休・休職〇	1-①「学校における働き方改革アンケート」（市教委作成） Q「日々の業務の中で充実感を得られている」教職員割合80%以上	80%																

尾道市立瀬戸田中学校